



平成30年度の予算案をお知らせします	2・3面
セカンドライフ相談会	4面
高齢者肺炎球菌ワクチンの費用助成は3月31日まで	4面
市からのお知らせ	11面から
引越シーズン 手続きはお早めに	12面

平成30年度予算案 | 一般会計 688億2,842万円

新年度の施政方針(概要)

「人生100年時代」いきいきと人が暮らし、共に支え合う「人財活躍都市・三鷹」を目指して — 持続可能な自治体経営で切り拓く三鷹の未来

平成30年度の市の予算案が、2月23日から始まった市議会定例会で審議されています。新年度は、「人生100年時代」を見据え、いきいきと人が暮らし、共に支え合い、市民のみなさん一人ひとりが輝く「人財活躍都市・三鷹」の実現を目指す年度です。

市民のみなさんにとって「人財」である職員とともに、少子高齢化が進む未来を見据えて、税財政が直面する構造的な厳しさを冷静に洞察し対応しつつ、市民のみなさんが安心して暮らし、活力ある健康長寿社会を目指してご活躍いただくための基礎となるように、持続可能な自治体経営を進めてまいります。

予算案の概要については2・3面で紹介しています



三鷹市長
清原慶子

平成30年は、「明治150年」、すなわち江戸から東京が変わって150年の年で、「人生100年時代」の到来や人工知能の進化が、未来の私たちの暮らしや働き方に劇的な変化をもたらすことが予測されています。こうした時代の節目を迎え、三鷹市政を展望するとき、現代を生きる私たちは、過去を振り返り、現在の到達点とその意義を再確認するとともに、社会変動の動向に注目しつつ、未来の地域社会の見取り図をしっかりと描いていくことが求められています。

30年度は、『第4次三鷹市基本計画(第1次改定)』の計画中期の目標達成に向けて着実に取り組むとともに、31年度に第2次改定を迎えることから、しっかりとした中長期的な時間軸を据えて、時代の潮流を敏感に捉えるとともに、客観的なデータを踏まえて、着実に検討の準備を進めていきたいと考えます。

三鷹市は昨年、「自らの創意工夫により、優れた施策を実施し、

地方自治の充実発展に寄与した市町村」の一つとして「地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰」の団体表彰を受けました。この表彰は、『三鷹市自治基本条例』の基本理念に基づく、「民学産公の協働のまちづくり」の多様な取り組みが評価されたものと認識しています。三鷹市がこのような実践をしてこられたのは、二元代表制の両輪である三鷹市議会の皆様のご理解とご支援、協働のパートナーとして自治の実現を担う「人財」である市民の皆様、大学・研究機関、産業界、他の公共機関のご活躍の賜物であると、心から感謝申し上げます。

私は、『三鷹市基本構想』の基本理念である「平和の希求」「人権の尊重」「自治の実現」の推進に向けて、今後も三鷹市議会との二元代表制を尊重し、市民本位の「民学産公の協働のまちづくり」を、謙虚に、着実に推進していきたいと、改めて決意しています。

『第4次三鷹市基本計画(第1次改定)』の目標達成に向けた施策の推進

◆最重点プロジェクト「都市再生」について

市庁舎・議場棟等の建替えに向けた検討を、市民・専門家のみなさんの参加によって着実に進める年度となります。多様な意見を反映しながら、『市庁舎・議場棟等建替え基本構想』を策定します。

環境センター跡地については、適時に施設の解体や土壌対策工事などに着手しますが、それまでの間は、地域のみなさんの憩いの場となるように、敷地内に健康遊具やボール遊びができる広場を設置するなど暫定的活用に向けた整備を進めます。



現在の三鷹市庁舎

東部図書館は、耐震改修と併せて、滞在・交流型の施設へのリニューアル工事を実施します。休館中は移動図書館の巡回による代替サービスを提供するとともに、リニューアル後にはサポーター組織との協働の推進を図り、図書閲覧・貸し出し以外の機能と魅力を持つ図書館運営を進めていきます。

◆最重点プロジェクト「コミュニティ創生」について

平成30年度は、「新川中原」「にしみたか」の地域ケアネットワークが設立10年を迎えます。これまでの10年

を振り返り、共助のまちづくりのパートナーとして将来ビジョンを共有しながら、地域の特性を踏まえた活動を支援していきます。

29年4月に「児童館」から名称を変更した「多世代交流センター」は、青少年や乳幼児を支える拠点機能のみならず、若者から高齢者までの多様な世代が活動を展開する中で、世代間の交流が図られています。30年度はリニューアル工事を実施し、子どもから高齢者までの多世代が利用しやすい施設となるように、バリアフリーにも配慮した整備を進めます。



西多世代交流センターでの多世代交流の取り組み

◆重点プロジェクトについて

『第4次三鷹市基本計画(第1次改定)』に位置付ける7つの重点プロジェクトを着実に推進します。

※重点プロジェクトの概要は2面をご覧ください。

「働き方改革」によるライフ・ワーク・バランスの推進

福祉の担い手が地域でいきいきと活躍できるように、保育の分野では、従事職員の宿舍借り上げや処遇改善助成を継続します。また、介護の分野では、家賃や研修費の助成など、就労・勤続しやすい環境づくりを新たに進めるとともに、介護職への理解と就労を促すため、高校

生らを対象とした職場体験を実施するなど、人財の裾野を広げる取り組みを進めます。

学校における働き方改革については、教員が担うべき職務を明確化し、業務に専念できる環境を確保することで、学校教育の質の向上を図る施策を充実します。

「三鷹版 働き方改革応援プロジェクト」では、長時間労働の削減や有給休暇などの取得を促進するモデル企業への働き方改革支援者の派遣を拡充します。また、将来的に企業や事業所が働き方改革に主体的に取り組むきっかけとなるように、経営者を対象とした出張説明や無料相談会を実施します。

構造的な厳しさに耐える行財政基盤の確立

平成30年度は、国民健康保険の運営の都道府県単位化、介護保険・後期高齢者医療の保険料改定など、社会保障施策が大きく変わる年度となります。また、税制の分野においては、法人市民税の一部国税化や地方消費税の清算基準の見直しなど、税の地域偏在性は正を名目に、都市部の財源を減らし、地方へと移転する動きが加速化しています。

こうした地方財政を取り巻く構造的な厳しさに直面する中、行財政改革を推進して確固たる行財政基盤の確立を目指し、引き続き、市民のみなさんの暮らしを守ることを最優先とした財政運営を進めます。

施政方針全文は市ホームページでご覧いただけます

平成30年度の予算案を

平成30年度予算案における一般会計と特別会計の予算総額は1,082億6,594万4千円で、前年度予算と比較すると14億5,946万6千円(1.3%)の減となります。

一般会計の予算額は688億2,842万2千円で、前年度予算と比較すると12億854万8千円(1.8%)の増です。これは、子ども・子育て支援などの社会保障関連経費が増加したことなどによるものです。

特別会計の予算額の合計は394億3,752万2千円で、前年度予算と比較すると26億6,801万4千円(6.3%)の減です。これは、下水道事業特別会計と後期高齢者医療特別会計が増となったものの、国民健康保険事業特別会計が、都道府県単位化に伴い大幅な減となったことなどによるものです。

今号では、こうした30年度予算案の概要と主な事業の内容をお知らせします。

各会計別の予算額

(単位：千円)

会計	平成30年度 予算額	平成29年度 予算額	増減		
一般会計	68,828,422	67,619,874	1,208,548	1.8%	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	17,384,711	20,422,436	△3,037,725	△14.9%
	下水道事業特別会計	4,290,081	3,914,093	375,988	9.6%
	介護サービス事業特別会計	941,679	1,000,926	△59,247	△5.9%
	介護保険事業特別会計	12,681,860	12,794,322	△112,462	△0.9%
	後期高齢者医療特別会計	4,139,191	3,973,759	165,432	4.2%
	合計	39,437,522	42,105,536	△2,668,014	△6.3%
総計	108,265,944	109,725,410	△1,459,466	△1.3%	
純計	100,383,015	101,628,654	△1,245,639	△1.2%	

※「純計」とは会計間の重複(繰入金・繰入金)を控除した額です。

※「△」はマイナス。

一般会計と市税の当初予算額の推移

(単位：百万円)

	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比
歳入・歳出 総額	66,335	2.4%	69,401	4.6%	69,539	0.2%	67,620	△2.8%	68,828	1.8%
うち市税	35,272	4.3%	36,433	3.3%	36,793	1.0%	37,290	1.4%	37,340	0.1%

※「△」はマイナス。

『平成30年度施政方針・予算概要』(1冊200円)、『平成30年度三鷹市一般会計・特別会計予算及び同説明書』(1冊900円)は、相談・情報課(市役所2階) ☎内線2215で販売しています。また、「施政方針・予算概要」は、市ホームページでもご覧いただけます。

一般会計 688億2,842万円 (1人当たり370,045円)

※「%」は一般会計予算に占める割合を示しています。

※1人当たりの金額は、平成30年度の人口見込み186,000人で割り返した金額です。

歳出予算

議会費

市議会の運営に



5億317万円 0.7%
(1人当たり2,705円)

総務費

市役所の運営、コミュニティ、文化、安全安心対策などに



87億1,558万円 12.7%
(1人当たり46,858円)

民生費

社会保障、子育て支援、高齢者・障がい者福祉などに



358億2,642万円 52.1%
(1人当たり192,615円)

衛生費

健康増進、ごみ処理、公害対策などに



41億517万円 6.0%
(1人当たり22,071円)

土木費

道路、公園整備、緑化対策などに



52億7,458万円 7.7%
(1人当たり28,358円)

消防費

消防や防災対策などに



21億8,422万円 3.2%
(1人当たり11,743円)

教育費

小・中学校教育、社会教育、スポーツ振興などに



73億8,161万円 10.7%
(1人当たり39,686円)

公債費

市債(借入金)の返済に



39億4,600万円 5.7%
(1人当たり21,215円)

そのほか

消費者・勤労者対策、農業・商工業振興などに

8億9,167万円 1.2%
(1人当たり4,794円)

歳入予算

市税

みなさんから預かりする税金



373億4,005万円 54.2%
(1人当たり200,753円)

各種交付金

使い方が定められていない国・都からの交付金など



42億508万円 6.2%
(1人当たり22,608円)

使用料・手数料、分担金・負担金

保育料やごみ処理手数料など、みなさんに負担していただく収入



21億2,335万円 3.1%
(1人当たり11,416円)

国庫支出金

使い方が定められている国からの負担金・補助金



109億5,574万円 15.9%
(1人当たり58,902円)

都支出金

使い方が定められている東京都からの負担金・補助金



82億3,848万円 12.0%
(1人当たり44,293円)

繰入金

基金(貯金)の取り崩しなど



16億4,033万円 2.4%
(1人当たり8,819円)

市債

都市再生に係る事業などのための借入金



16億5,000万円 2.4%
(1人当たり8,871円)

そのほか

前年度決算の繰越金や財産売却収入など

26億7,539万円 3.8%
(1人当たり14,383円)

お知らせします

問 財政課☎内線2124

平成30年度の主な事業

※『第4次三鷹市基本計画(第1次改定)』のプロジェクトに基づき分類しています。

都市再生プロジェクト

- 市民センター内駐車場などの整備の推進 3億1,872万2千円
- 『市庁舎・議場棟等建替え基本構想』などの策定 2,710万2千円
- 環境センター跡地の暫定利活用 9,128万8千円
- 学校施設の長寿命化改修工事の計画的な実施(※) 8,200万円
- 下水道施設の長寿命化の推進 6億8,198万円



(※)学校施設の今後の計画的な改修を進めていくため、『学校施設長寿命化計画(仮称)』の策定に向けた調査を行います。

セーフティーネットプロジェクト

- 発達障がい保護者寄り添い支援事業の実施 62万円
- 北野ハピネスセンターの効率的な運営(※) 8,681万2千円
- 調布基地跡地福祉施設の整備などに向けた取り組み 57万4千円



(※)4月から指定管理者制度による施設運営を開始します。また、幼児部門移転後のスペースを有効活用した給食サービスや入浴サービスを新たに実施するとともに、重症心身障害者の受け入れ体制を強化します。

コミュニティ創生プロジェクト

- コミュニティ創生研究事業の推進 23万4千円
- 地域ケアネットワーク推進事業の充実と発展(※) 1,351万8千円
- 多世代交流センターリニューアル工事の実施 4億9,756万円



(※)誰もが住み慣れた地域で安心して生き生きと暮らすことができる共助のまちづくりを目指し、市内7カ所の地域ケアネットワークの活動などを引き続き支援します。30年度に設立10周年を迎える「新川中原」「にしみたか」の2カ所の地域ケアネットワークが行う記念事業などへの支援を行います。

サステナブル都市プロジェクト

- 『三鷹市地球温暖化対策実行計画(第4期計画)』の策定 659万5千円
- 都市型産業誘致の推進 8,255万4千円
- 下連雀五丁目公園(仮称)の整備 5,820万円

地域活性化プロジェクト

- 「三鷹版 働き方改革応援プロジェクト」のさらなる推進 1,199万6千円
- 太宰治没後70年特別展の実施 1,337万2千円
- 三鷹市ゆかりの文学者に関する顕彰事業の検討 596万2千円
- 外国人観光を促進するための案内・誘導サインの多言語化 3,951万1千円
- 大沢の里古民家(仮称)の開館 1,933万2千円
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成 794万2千円

安全安心プロジェクト

- 中原地区における都市型水害対策などの推進 2億2,782万円
- 止水板設置支援による都市型水害対策の推進 200万円
- 教育センターの耐震補強等工事の実施 6億2,476万7千円
- 通学路の安全確保の充実 776万5千円

子ども・子育て支援プロジェクト

- 『三鷹市子ども・子育て支援事業計画』の改定に向けたニーズ調査などの実施(※) 790万5千円
- 保育人財の確保・定着支援の拡充 4億1,214万1千円
- 私立認可保育園の開設支援 6億4,934万6千円
- 産後ケア事業の実施 1,103万2千円



(※)31年度の『三鷹市子ども・子育て支援事業計画』の改定に向けた基礎資料として活用するため、保育・教育などに関する利用者のニーズや子育て世帯の生活実態を調査します。

都市交通安全プロジェクト

- 市道第135号線(三鷹台駅前通り)整備の促進(※) 5,405万1千円
- みたかバスネットの推進 284万1千円
- 三鷹駅南口駅前広場などの交通環境の改善 516万円
- 都市計画道路3・4・13号(牟礼)整備の促進 5,034万2千円
- 都市計画道路3・4・7号(連雀通り)整備の促進 1,209万2千円



(※)17年度に策定した『三鷹市道第135号線緊急整備方針』に基づき、三鷹台駅周辺地域(三鷹台交番～立教女学院区間、延長約232m)の整備を進めてきました。30年度は、同区間の最終年次の整備として歩道の舗装などを行い、バリアフリーに配慮した歩行空間の整備に取り組みます。

そのほかの新規・拡充事業

情報環境の整備

- 三鷹市ホームページのリニューアル 720万6千円
- 自治体クラウドの導入に向けた取り組み 3,132万円
- 情報セキュリティ対策のさらなる向上 3,591万9千円

「21世紀型自治体」の実現と都市自治の確立

- 『第4次三鷹市基本計画』の第2次改定に向けた準備 837万円

健康長寿社会プロジェクト

- 介護人財の確保に向けた支援 1,054万8千円
- 特別養護老人ホームの建設費助成の実施 1億円
- 肺がん検診の拡充 563万1千円
- 認知症初期集中支援推進事業の実施 197万4千円